

## 令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立出雲中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ 昨年度に引き続き、全学年目標値を上回っている。
- ・ 比較的「関心・意欲・態度（主体的に学習に取り組む態度）」の数値が高い。

#### (2) 課題

- ・ ICT を活用し、視覚的に把握する学習や資料活用、思考力を高める取り組みをより一層充実させていく必要がある。
- ・ 定期的に過学年の既習事項の確認テスト等を行い、基礎・基本の定着を図るとともに、記述式の力を高める問題を出題していく。
- ・ 上位生徒と下位生徒の差が激しいため、各生徒の課題を明確にして評価していきたい。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	地理的分野では、「我が国の農林水産業」が目標値を下回った。歴史的分野では、古代に遡るほど正答率が低かった。	/	/
第2学年	地理的分野では「世界の諸地域」の南米・豪州などが目標値を下回り、歴史的分野では弥生時代に関する問いで正答率が低い。	地理的分野では「世界の諸地域」の南米・豪州などが目標値を下回り、歴史的分野では弥生時代に関する問いで正答率が低い。	/
第3学年	地理的分野では「日本の諸地域」が目標値を下回り、歴史的分野では「江戸時代」が目標値を下回っている。	地理的分野・歴史的分野のほとんどの領域で目標値を上回っているが、資料の読み取りに課題がある。	地理的分野・歴史的分野のほとんどの領域で目標値を上回っているが、資料の読み取りに課題がある。

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値をやや下回った。基本的な事柄に対する知識を身につけること、資料を適切に読み取ることが必要である。	目標値を上回っていた。資料を基に、問われたことに対して正確に答える力を身につけることが必要である。	目標値にやや届かなかった。単元の中で生徒が自ら課題を見出す機会を設定したい。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理歴史ともに文章で書かれた資料を学習内容と関連づけて解答することが必要である。	記述式の問題が目標値に達していない。問題の意図するところを読み取り文章で表現する事が必要である。	地理分野では鉱工業についての問題が目標値に達していなかった。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
江戸時代の産業に関する正答率が低く、出来事だけでなく、社会の変化などの知識を身につけることが課題である。	地理の資料の読み取りおよび、地理の記述式が目標値に達しておらず、地理の読解・表現力の向上が課題である。	ほとんどが目標値を上回っているが、地理の資料・統計を読む力が必要である。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な事柄の定着を日々の授業で図るとともに、資料を読み取る機会を十分に確保する。	複数の資料を読み取って解答する機会を設け、考えたことを表現する力を身につけさせる。	学習前後の自己の学びの変化を意識させる。また、デジタル教材等を活用し、出来事の過程や推移に着目させる。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元テストでは、学習内容と関連性のある資料を提示していく。	ノートで自由記述のスペースを多めにとることで、読み取り・自分の考えを言語化する習慣を付ける。	ICT 機器を活用して、生徒が自分自身でまとめる力を身につけていく。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文化・産業・外交などのカテゴリーごとの小テストを行い、通史だけでなく知識を分類・整理していく力を高めていく。	地図・グラフ資料の問題演習をスモールステップで重ねていくことで、判断するポイントを身につけていく。	テーマに即した自由記述形式のノートづくりをすることで、課題を読み取り向き合う習慣をつける。